事業所名　すがの親愛ホーム

作成日：令和 4年　11月　26日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	明確な虐待ではなく、普段の生活に潜む様々な行為が【虐待】と判断されることを職員全員に周知できていない。介護者も自覚なく、無意識のうちに行われていることを認識していく。	利用者がストレスに感じないような環境を作る。虐待・身体拘束に関する知識を増やしていく。	職員同士の言動・行動が利用者に不快な思いをさせていないか、各フロアのリーダーが確認していく。また、居室環境も整備していく。夜間勤務時のラウンドを行い、職員が適切な介助を行っているか確認する。	3ヶ月
2	12	年間通して離職率が高く、特に職歴が浅い職員の離職が多い。介護技術の向上が見受けられない。	就業環境の整備を行い、離職を減らしていく。介護未経験者に、【仕事の楽しみや充実】を管理者やリーダーが伝えていく。	組織体制再編を行い、各業務の担当を細分化し、職歴問わず、責任感ある業務を任せ、必要とされていることを認識してもらう。また、他施設交流も積極的に行っていく。	3ヶ月
3	18	本人とともに過ごし、支えあえる関係が構築できていない。利用者とのコミュニケーションをとる際に、受容・共感ができていない職員がいる。	利用者の表情が明るくなるようにする。利用者に『今日はつまらなかった』『あまり話していない』『家に帰りたい』等のマイナス思考な発言をされないような環境を作る。	職員の気質を考え、人員の配置やシフトを慎重に行う。また、レクリエーションを充実させたり、社内研修で受容・共感についてを指導。介護レベルを上げるようにする。	3ヶ月
4	52	居心地がよい共有空間（ホール）、また、居室空間を提供できていない。	ベランダや庭も含めた、施設全体の環境美化を行う。結果的に、転倒事故防止にもつながるので、居室と共有空間はスペースに気配りをする。	不用品の処分については、既に開始した。12月から居室担当を一新し、リーダーも介入し整理整頓、居室美化も行う。	3ヶ月
5	－	各種委員会活動を充実させていきたい。	現状は、フロアミーティング時に付属的に短時間で行っているが、委員会活動を独立させ、もっと、充実した深い内容にする。	他事業所や提携医師・提携薬剤師にも協力を要請し、様々な研修活動も実施。その情報を、各委員会で職員間で共有していく。	6ヶ月